

「7級公務員」 ★★★

2010（平成22）年11月18日鑑賞＜東映試写室＞

監督：シン・テラ
イ・ジェジュン（国家情報院、海外部門所属要員、スジの恋人）／カン・ジファン
アン・スジ（国家情報院、国内産業保安チーム所属要員の女性）／キム・ハヌル
ホン（国家情報院、国内産業保安チーム長）／チャン・ヨンナム
ウォンソク（国家情報院、海外部門のハリマオチームのチーム長）／リュ・スンヨン
2009年・韓国映画・112分
配給／エスピーオー

＜国家情報院の女スパイに注目！＞

アメリカにはC I A（中央情報局）やF B I（連邦捜査局）があり、否応なく活発な活動を展開しているが、能天気な日本では？昨日11月23日は日本では「勤労感謝の日」の祝日だが、夕方テレビをつけたところで驚いたのは、北朝鮮が朝鮮半島西側にある韓国の延坪（ヨンピョン）島に数十発の砲弾を撃ち込み、韓国も撃ち返したとのニュース。南北問題を抱えている韓国では、アメリカのC I AやF B Iと同じように国家情報院は国防上不可欠な組織だ。
そんな国家情報院の国内産業保安チームに所属する6年目の女スパイが、本作の主人公アン・スジ。南北問題をシリアスに描いた韓国映画の傑作『シュリ』（99年）、『J S A』（00年）（『シネマルーム1』62頁参照）や『二重スパイ』（03年）（『シネマルーム3』74頁参照）などとは異なり、本作はアクション・ラブコメディ。冒頭のウエディングドレス姿をはじめとして、どんなファッションにも対応できるプロポーションの良さが売りモノのキム・ハヌルが「女007」アン・スジに扮して、国内産業保安チームのホン・チーム長（チャン・ヨンナム）の指導の下に、八面六臂の活躍を見せるが、さてそのホンモノ度は？

＜表の顔は国際会計士だが、裏の顔は？＞

スジの恋人でありながら、スジの本性を知らされていないイ・ジェジュン（カン・ジファン）は、明らかに「嘘だらけ！」とわかるスジの対応ぶりに今や不信感でいっぱい。「今どこにいるの？」との質問に対して、「今、鬱陵島（ウルルンド）にいるの」という毎回くり返される嘘にブチ切れたジェジュンはついにスジに別れを告げ、「国際会計士」になるべくロシアへ留学することに。ところで、国際会計士って一体ナニ？日本でも「国際弁護士」を名乗る弁護士がいるが、弁護士業界に特別、国際弁護士という資格があるわけではない。するとジェジュンが名乗る国際会計士だって、怪しいもの？
日本では草食系男子の大量増殖が問題になっているが、何ともたくましい女スジに振り回されるジェジュンの姿をみると、韓国でもそれは同じ。ついそう思ってしまうが、ジェジュンは意外に一本気で情熱的、そしてかなりしつこく目的に向かっていくタイプ？スジと別れて3年。今、国際会計士として帰国してきた彼が向かったのは、なぜか国家情報院の海外部門。ここは別名「ハリマオ」というプロ集団で、そのチーム長は男っぼさが売りのウォンソク（リュ・スンヨン）。そんなチームに所属することになれば、ジェジュンのイケメンぶりには何の価値もないうえ、マザコン的性格はマイナスなだけ。しかし、何ゴトにも熱心で勇猛なハリマオを目指すジェジュンはことある毎に単独行動に及び、その挙句・・・？

＜このタイトルの意味は？＞

09年の8.30総選挙における「政権交代」は、坂本龍馬たちの努力によって実現した1867年の「大政奉還」と同じくらいに価値のあること。私はそう理解していたが、その後約1年半にわたる民主党を軸とした政権の動きと、かけ声ばかりの「政治主導」ぶりをみていると、絶望感が深まるばかりだ。例えば、民主党がマニフェストとして掲げた公務員改革の進展は？
日本の公務員は国家公務員と地方公務員の2種類だが、本作のタイトルは「7級公務員」。さて、その意味は？ネット情報で少し調べたところ、韓国の国家職における5級は日本の国家Ⅰ種に、7級は日本の国家Ⅱ種に、9級は日本の国家Ⅲ種に当たり、地方職の7級は日本の地方上級に当たるらしい。しかし、そのシステムはかなり複雑だから、きっちり理解するのは大変。本作を契機として、薄型テレビを中心とする家電業界はもとより、広州で開催されたアジア大会で見たように、スポーツ界においても既に日本を追い越した感が強い韓国の公務員制度に興味を持たれた方は、是非しっかりそのお勉強を。